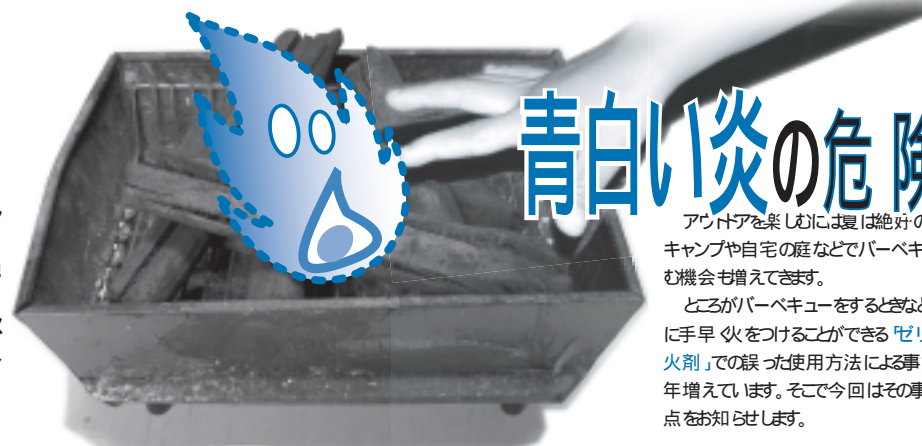


こんな場合のアドバイス

火のついた着火剤が皮膚についた場合は、湿らせた布等で上から押さえ、火を消した後、冷水で洗い流し患部をよく冷やす。払い落とそうとするとやけどの範囲が広がる原因になることがあるので注意して下さい。

キャンプやアウトドアレジャーは、不便な場所が多いため、救急車の到着にも時間がかかります。十分注意しましょう。



青白い炎の危険

アウトドアを楽しむには、絶対の季節です。キャンプや自宅の庭などでバーベキューを楽しむ機会も増えてきます。ところがバーベキューをするときに炭や薪に手早く火をつけることができる「ゼリー状の着火剤」での誤った使用方法による事故が近年増えていきます。そこで今回はその事例と注意点をお知らせします。

消防の広場

たんごの風 29号

119
火災・救急・救助

代表 62-0119
総務課 総務係 62-9119
管理係 62-9129
予防課 62-5119

着火剤ってなに

バーベキューをする際、炭に火をつけるのはかなりの技術と手間がかかります。そこで木炭や薪などに火をおこしやすくするため補助的に使われるのが着火剤です。着火剤には、マヨネーズのようなボリ容器に入って搾り出して使うゼリー状のものや固形タイプのものであります。事故が多発しているのはゼリー状の着火剤です。



市販されているゼリー状の着火剤

危険物って知ってた

ゼリー状着火剤は消防法の中の「引火性固体」として「危険物」に指定されています。ゼリー状着火剤の主成分であるメチルアルコールの性質は、**1 揮発性が高く引火しやすい。**
2 炎が青白く見えにくい。
太陽の下で燃焼させた場合、燃えているのかわかりにくい。これらのメチルアルコールの特性が事故を引き起こしています。



【事故例 一】

バーベキューをするときに、炭の上に着火剤をつけて点火した。炎が消えかけたので、再び着火剤をつぎたしたところ、一〜二分後に炎が上部に噴き上がり、顔や腕にやけどを負って三週間入院した。(四十歳の男性)

【事故例 二】

コンロから一メートルくらい離れた所に、少し残った着火剤をキャップを開けた状態で置いていたところ、十五分位たった時に着火剤の容器が爆発して、首と右手にやけどを負った。(二十歳の男性)



これを守れば大丈夫

- 一度火をつけたら、チューブ入り着火剤の「つぎだし」や、バック入り着火剤は、火の気の近くでキャップを開けた状態では決して置かない。
- 着火剤は、火の気の近くでキャップを開けた状態で決して置かない。
- 時間を置くと揮発したガスの量が増えすぎて危険なので、絞り出したらすやかに点火する。

カセットコンロの危険

バーベキュー等屋外で料理をするときに手軽に利用できるカセットコンロも、誤った使い方をすると思わぬ事故につながるおそれがあります。

【事故例 一】

カセットコンロの火を使って炭火をおこしていたら、容器(ガスボンベ)が破裂した。

熱くなった炭の熱により容器の温度が上昇し、内部の圧力が上昇したため破裂に至ったものです。

【事故例 二】

カセットコンロを二台並べて調理したところ、一台の容器(ガスボンベ)が破裂した。

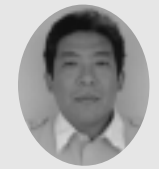
お互いの燃焼炎でボンベが過熱されボンベ内の圧力が異常に上昇して爆発したものです。

「まさか？」と、思っような事が原因で思わぬ事故を引き起こしかねません。つぎのような使い方はやめましょう。

カセットコンロは二台以上並べて使わないでください

カセットコンロで火をおこさないでください

このように着火剤やカセットコンロの誤った使用方法により、楽しいはずの家族団らんが悲惨な事故につながる。まず、「安全と危険」の分岐点は使い方ひとつです。使用方法をよく読んで正しく使い、楽しいアウトドアライフを満喫してください。



救急救命士 安井 英人

アナフィラキシーショックとは

みなさんにとってこの言葉はあまり聞きなれないものではないでしょうか。実は八丁に刺された時に起こるアレルギー反応のことです。初めて八丁に刺されると激痛が走り赤くはれ上がりますが大体1〜2時間で治まります。しかし、そのとき体の中に抗体(体を守る作用)ができ、それ以降、人によっては八丁に刺されると抗体によって過剰反応を起こし、全身に熱感、かゆみ、じんま疹が出たり、呼吸困難になったりします。クラゲに刺された時も同様の症状を引き起こします。

八丁に刺されたら、患部を氷や濡れたタオルなどで冷やしながら病院へ行きましょう。昔から八丁に刺されたらおしんをかけるといわれていますが、これはまったくの迷信です。刺されたら迷わず病院へ行きましょう。